



あしきた

第2号

平成17年4月28日発行

湯浦小入学式

(女島小と統合)



田浦小入学式

(大岩小と統合)



- 合併後初の3月定例議会…P2～3
 - 常任委員会の報告……………P9～11
 - 質問に5議員が登壇……………P4～8
 - 広報委員で誌面を分担…P12
- 議会のうごき

年度 当初予算 徹底審査し可決!!

3月定例議会

一般会計 **97億4300万円**は骨格予算で
～平成17年度末地方債（借金）見込金額約102億に～

《合併記念事業》

「NHKのど自慢大会」「子供未来発表会(仮称)」など
佐敷小学校の本体改築に着手し、仮設校舎で授業



3月定例議会（本会議での委員長報告）

合併後、初の3月定例議会が3月11日招集され、28日までの18日間の会期で開催された。
町長が平成17年度施政方針と予算大綱説明をし、合併効果を最大限に発揮する施策を実施して、住民が「合併して良かった」と実感できる事業を遂行することが町政運営の

平成16年度
（1～3月）予算案

51億7640万円も可決する

町情報公開条例案・町個人情報保護条例案

なども可決

基本と述べた。

一般会計予算案、国民健康保険事業をはじめとする8特別会計予算案、水道事業会計予算案のほか、平成16年度（新町発足1～3月）一般会計予算案と9特別会計予算案・補正予算案など、条例の制定及び廃止並びに一部改正案21件、協定の締結と契約の変更、

承認2件、請願1件について、活発な質疑と徹底審査をして、いずれも可決した。
一般質問には、5名の議員が登壇し、新町後はじめて町長や執行部の考えと施策を問いただして、政策の提言等も発言した。
また、陳情1件を継続審査として閉会した。

可決された平成17年度当初予算

○一般会計	97億4,300万円
○国民健康保険特別会計 （事業勘定）	25億7,400万円
○国民健康保険特別会計 （直診勘定）	7,080万円
○老人保健特別会計	30億4,980万円
○介護保険特別会計	19億7,600万円
○簡易水道特別会計	7,520万円
○農業集落排水特別会計	2億4,040万円
○生活排水処理特別会計	6,040万円
○町有温泉特別会計	1億0,540万円
○奨学資金貸付特別会計	4,020万円
○水道事業会計	1億8,548万円

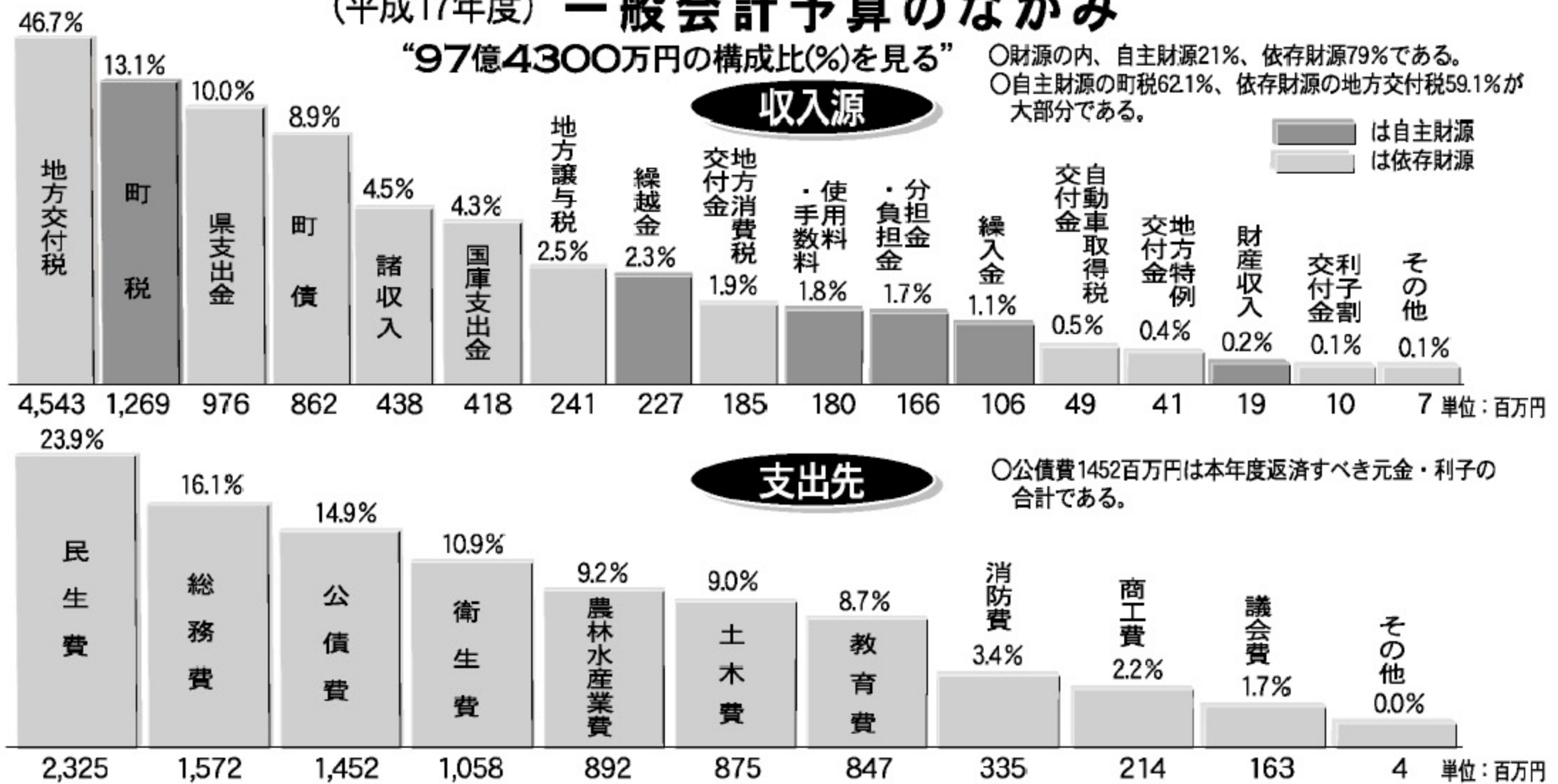
予算総額 181億2,068万円

合併後の 平成17 総額 181億2068万円を

(平成17年度) 一般会計予算のなかみ

“97億4300万円の構成比(%)を見る”

○財源の内、自主財源21%、依存財源79%である。
○自主財源の町税62.1%、依存財源の地方交付税59.1%が大部分である。



3月定例会で可決した議案など (平成17年度当初予算は除く)

(条例の制定関係)

- ・ 芦北町情報公開条例
- ・ 芦北町個人情報保護条例 (修正可決)
- ・ 芦北町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例
- ・ 芦北町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例
- ・ 芦北町特定農山村地域市町村活動支援事業基金条例を廃止する条例

(陳情・請願関係)

- ・ 郵政事業の民営化に反対を求める意見書提出に関する請願

(平成16年度予算・補正予算関係)

- ・ 一般会計
- ・ 国民健康保険特別会計
- ・ 老人保健特別会計
- ・ 介護保険特別会計
- ・ 簡易水道特別会計
- ・ 農業集落排水特別会計
- ・ 生活排水処理特別会計
- ・ 町有温泉特別会計
- ・ 奨学資金貸付特別会計
- ・ 水道事業会計

(条例の一部改正等関係)

- ・ 芦北町監査委員に関する条例
- ・ 芦北町報酬及び費用弁償等条例
- ・ 芦北町なごやか通信情報ネットワーク施設条例
- ・ 芦北町税条例
- ・ 芦北町国民健康保険税条例
- ・ 芦北町福祉センター条例
- ・ 芦北町営住宅管理条例
- ・ 芦北町御立岬公園条例

- ・ 芦北町学校給食センター条例
- ・ 芦北町文化財保護条例
- ・ 芦北町文化財保護審議会条例
- ・ 芦北町社会教育施設条例
- ・ 芦北町体育施設条例
- ・ 芦北町簡易水道事業給水条例
- ・ 芦北町水道事業給水条例
- ・ 芦北町課設置条例

- ・ 熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、共同処理する事務の変更及び規約の一部変更

(その他)

- ・ 建設工事委託に関する協定の締結 (芦北海浜総合公園)
- ・ 工事請負契約の締結 (水道公園墓地)
- ・ 工事請負契約の変更 (林道井牟田線工期)
- ・ あらたに生じた土地の確認 (女島埋立地)
- ・ 字の区域変更 (女島埋立地)



来年3月グラウンドオープン予定地の
芦北海浜総合公園

御立岬公園の整備 及び 今後の観光開発について



平松議員



通学のため、たのうら御立岬公園駅から電車に乗り込む高校生たち

質

観光に大きな期待がもてる御立岬公園や、肥後うらら物産館等集客アップの観点から、新設された「たのうら御立岬公園駅」を起点に、シャトルバスを運行する考えはないか。

答 町長

イベント時や海水浴シーズンなど、臨時的な対応が

効果的で、今後有限会社御立岬と連携を図りながら調整を進めたい。

質

たのうら御立岬公園駅に貸自転車を設置する考えはないか。

答 町長

先進地の事例や他の手法も含め検討したい。

質

「肥薩おれんじ鉄道の列車内への自転車の持ち込みについて」町長より肥薩おれんじ鉄道株式会社へ要望する考えはないか。

答 町長

肥薩おれんじ鉄道へ問い合わせた結果、全便ワンマン運行のため実施困難であり、専用車両を購入するにも資金面で問題がある。現状では自転車専用輪行袋による持ち込み以外に方法はない。

質

御立岬公園、芦北海浜総合公園とも年間通した集客を図るため新たな施設導入や環境整備の考えはないか。

答 町長

新町建設計画に基づいた事業展開と、今後、既存の施設・遊具が利用者に適合しているか否か、総合的に活性化が図られるよう検討したい。



年間を通じた集客が望まれる御立岬公園

旧両町から新芦北町への 事務引継の具体的な内容とは？



川尻議員

質 旧芦北町、旧田浦町の町長、芦北町長職務執行者から事務引継ぎは、いつ受けたのか。

答 町長

旧芦北町、旧田浦町の町長からは、1月1日に、芦北町長職務執行者からは1月24日に引継ぎを受けている。

質

旧両町の町長からの事務引継ぎの中で「処分未了、未着手の事項又は将来企画すべき事項」について、その処理の順序及び方法並びにこれに対する意見はどんな内容であったのか。

答 町長

処分未了43件、未着手の事項42件、将来企画すべき事項31件あり、これらの引継ぎは、書面による引継ぎである。その優先順位等々については、新町建設計画に短期、中期、長期と織り込んで、実施計画を立てて進めていきたい。

閉鎖された

「国民年金健康保養センター」 ブルーマリンあしきたはどうなる？

質

閉鎖に至るまでの経緯を芦北町長としてどう受け止めているのか。

答 町長

大変厳しく受け止めている。経緯につきましては、社会福祉施設の見直しが、与党年金制度改革協議会で3月10日に決定され、継続的に赤字が見込まれる施設については早急な廃止・売却に努めることとされ、社会保険庁において収支の黒字が見込めるかという判断基準で「ブルーマリンあしきた」は15年度に引き続き16年度も収支が赤字となる見込みで、廃止対象の施設となった。

質

芦北町として施設を活用することを検討しなかったのか。

答 町長

活用するかはこれからである。不動産評価鑑定中であり、その結果等を踏まえ国・県ならびに芦北町議会にも相談しながら対応していく考えである。

スクールバスの安全・安心な運行 計画を問う

質

16年度計画されていた、スクールバスを活用しての混乗方式による無償での運行はどのようなになったのか。小中学校の統廃合の増設運行になるが、今後の具体的な運行計画は立てられているのか。

答 町長

スクールバスを路線バスに併用できないか検討を続けてきたが、現状の利用形態では非常に困難である。また、児童生徒を対象とした凶悪事件が発生しており、混乗方式を採用した場合に安全面の不安が大きい。今後継続して検討していくが、財政的にも有利で、かつ住民の利便性に資する方法を考えていきたい。



スクールバスに乗り込む佐敷小の児童

ペイオフ完全解禁への 対策について



小川議員

質

本年4月から、1千万円までしか保護されないペイオフが実施されるが、金融機関への預け入れ状況は。

答 収入役

3月3日現在で、普通預金約18億1100万円、定期預金16億6600万円である。

質

金融機関が破綻した場合の対応は。

答 収入役

より信頼性のある財務情報を早く取得し、財務状況を把握すること、相殺財源として残高相当額を定期預金とする。その他については、全額保護となる金融商品とせざるを得ない。

質

決済用預金への移行の考えは。

答 収入役

この預金は、全額保護されるが、利子は発生しない。

い。しかし、最も安全に保管できる商品であるので、十分検討し対応したい。

田浦基幹支所の 事務の遂行状況は

質

住民総合班、業務振興班

の住民サービスへの対応はどのように考えているか。



田浦基幹支所の窓口

答 町長

旧田浦町の町民に対しサービスの低下を防ぎ、利便性を確保するために置かれた。現在支所長以下21人体制である。

質

合併前と現在の窓口業務の取扱件数は。

答 町長

1月878件、2月818件、1・2月を見ると微減となっている。

芦北町の危機管理は このままでいいのか？



前島議員

**災害時の避難
はどうか対応
するのか**

質

計石護岸の嵩上げ工事、湯浦河口芦北地区の右岸の堤防は昔のままで、土壌改良もしていない。地震等で津波が来たら決壊する恐れがあり、芦北地区や女島地区とか非常に危険である。そんな時、どこに避難せよというような防災マップは作れないのか。芦北地区の住民も知らない状況である。

答 町長

ほとんどの自治体の一つの雛形があり、それを自らの自治体用にアレンジをしているのが実態である。実際大きな被害を被った時初めて実態に即した防災計画に取り組むというのが実情である。人口密度や高齢化、道路の状況、潮の干満等、実態に即した防災計画等、町民がわかりやすい防災マップの作成が必要であると思う。総合的に提言のように検討を加えたい。

**新町になって
行政の合理化策
はどうか**

質

この合併に伴う合理化について、もう少し具体的に聞きたい。

答 町長

進め方としては庁舎内に行政改革推進委員会へ図り順次実施できるものから進めていきたい。特に三位一体改革の内容が不透明な中での難しい問題もあるが、中長期的な



湯浦川の河口堤防



720人の団員を抱える
芦北町消防団

財政に見合った事務事業の統廃合等を検討して実施体制の組織機構の見直しを図りたい。具体的には、直営と民間委託の比較検討とか、消防団をはじめとする各種組織の再編、改革等が考えられる。

新町建設計画の实践と 課題への取り組みは？



鳥居議員

質

町民の理解度と期待感の認識はどうか。

答 町長

完成した新町建設計画は、全戸配布し周知を図ってきた。新町の将来像、個々の事業に対しては、様々な期待感を抱いているものと推察している。

質

組織機構の見直しはどこをするのか。

答 町長

行政改革検討委員会に諮り、具体的に取り組んでいく。

行財政改革

(年次別)の

具体策を

質

国の三位一体改革の現在までの影響は。

答 町長

大変厳しい状況下にあるが、合併による財政の優遇措置を十分に活用していきたい。

質

総人口が千人減少の場合の地方交付税等の試算をどう見ているのか。

答 町長

4400万円程度の減と試算する。

質

財政の弾力性の確保や経費節減の対応策は。

答 町長

行政改革検討委員会を設置し、積極的に行財政の改革を断行する。

質

職員削減計画の取り組みの考えはないのか。

答 町長

適正定数に努めているが、今後、十分に検討し取り組んでいく。

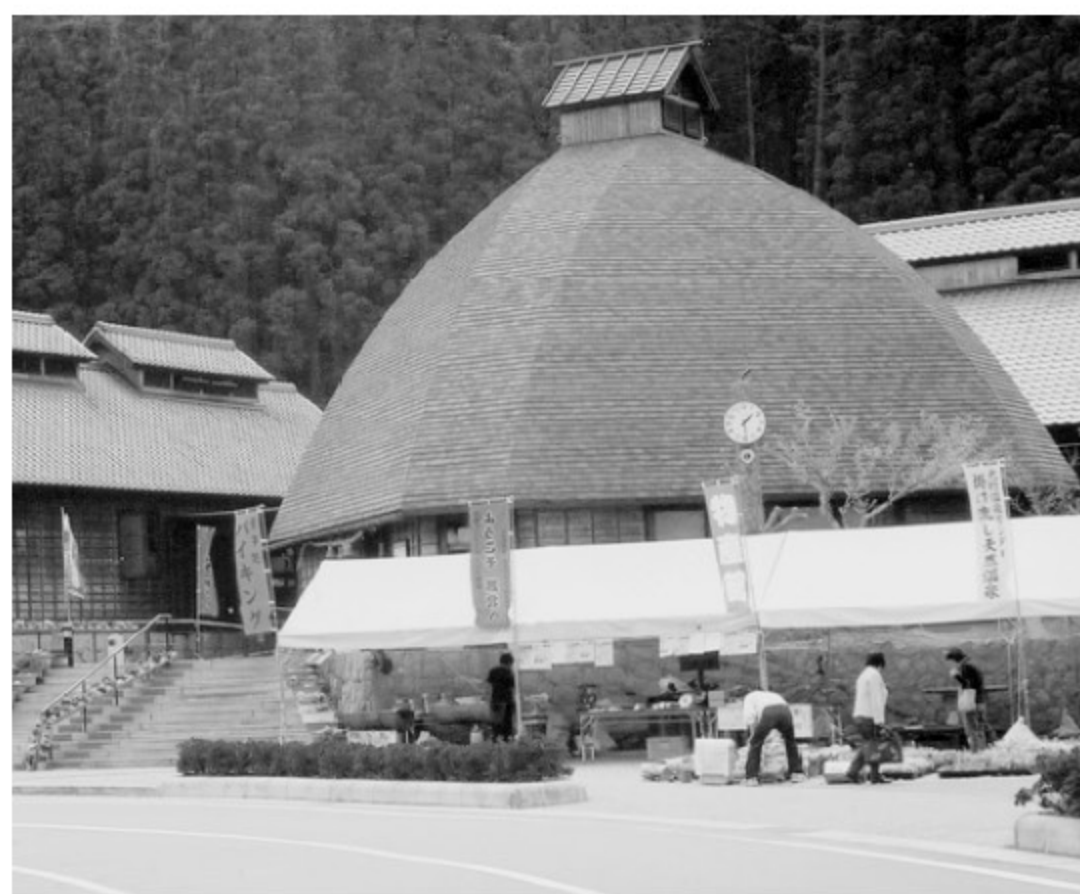
質

御立岬公園、芦北海浜総合公園、肥後うらら、大野温泉センターの事業主体と町民との接点は。

答 町長

観光面を念頭に置き、地域住民の参加型の観

光振興、農業振興、地域振興の目的で活用していく。



オープン4周年を迎えた大野温泉センター

過去12年間の出生者数

(旧芦北町と旧田浦町の合計)

単位：年度、人

H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
200	194	181	160	163	133	144	143	151	114	154	112

質

町民の融和と地域(コミュニティ)づくりは。

答 町長

各種町民参加型イベントへの積極的な参加を促し、町民相互の交流と融和を図っていく。

質

少子高齢化の進展の対応策をどうしていくのか。

答 町長

本年度策定する次世代育成支援行動計画を基本に、各種保育サービス等の充実を図り、誰もが安心して子育てできる芦北を目指す。

みつと

水道墓地の移転工事始まる

総務常任委員会

当委員会に付託された、

「平成17年度芦北町一般会計予算」、「芦北町情報公開条例」、「芦北町個人情報保護条例」、「芦北町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」、「芦北町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例」の制定について、及び「郵政事業の民営化に反対を求める意見書提出に関する請願」について審査を行った。

平成17年度の一般会計予算は通年ベースの8割以上の骨格予算で、97億4300万円が計上され、予算の編成に当たって、町長の施政方針にありますように「合併してよかった」と実感できるよう、合併協定項目に配慮して編成されている。

る。

企画財政課所管では、まちづくりに関することを始めとして、ほたる保護、街なみ環境整備事業、国際交流事業、水道墓地の移転工事費をはじめ、渇水対策用ため池の管理費、広報や新町の計画策定に係る費用等が措置されている。

議会費については、議会運営に要する経費が措置されている。

税務収納課所管では、町税の歳入では、景気回復が見えず、依然として厳しい状況にあるため、町税総額は12億6千956万4千円で、前年比2.2%の減となっている。合併により税以外の徴収についても一元化され、徴収率向上のため、特別徴収月間における

る訪問徴収体制の強化、滞納整理を重点的に実施し、税収の確保に努め、公平・公正な課税と徴収のための予算が措置されている。

総務課所管では、通常的な経費に加え、合併記念事業として開町式、NHKのど自慢大会、子供新未来発表会のイベント開催の予算をはじめ、新町建設計画の具現化に向け、各地区の要望意見等の集約のため、地区座談会が計画され、田浦基幹支所の証明書自動交付機設置費、町有財産の管理費、安心で安全なまちづくりのため交通安全対策費、消防費等の予算が措置されている。

収入役室所管では、決算書の印刷費等が措置されている。

田浦基幹支所所管では、管理に関する予算が措置されており、合併による不便さを感じさせないよう、迅速な対応とサービスに努めている。

以上、担当課へ質疑と答弁を求め、慎重に審査した結果を本会議で報告した。



街なみ環境整備が進むさしき本通り商店街

射場団地の建設進む!

建設経済常任委員会

水道課所管では、飲料水供給施設事業として泥汨上水道組合の水道施設整備に要する補助金が計上されている。

環境衛生課所管では、ごみの減量化、リサイクル化を進めるための環境衛生費や120基の浄化槽設置に



着々と工事が進む射場団地の建設現場

対する補助金、適正なごみの分別収集のための塵芥処理費、し尿処理費等の予算が計上されている。

農業委員会所管では農業者年金や農地の規模拡大・集団化のための農地保有合理化促進事業等の予算が計上されている。

地籍調査課所管では、市野瀬地区4・50km²、告地区8・01km²についての、一筆地調査及び地籍図根三角測量等を行うための予算が計上されている。

農林水産課所管では、加温・無加温ハウスのリース事業を行うための元金な地域づくり交付金事業や水俣芦北広域営農団地整備負担金、路網整備や間伐の促進、芦北松の復活等の事業に対する補助金、水産資源の確保のための放流事業、漁船保険事業、漁場環境整備のための補助金等が予算計上されている。

商工観光課所管では、地場中小企業の育成に努めるための芦北町中小企業信用保証料補助金、ビーチバレー・うたせマラソンの各種イベント・うたせ船キヤンペーン補助金、芦北総合海浜公園施設管理委託料やゾーブ購入費、御立岬公園費では、第6回ビーチサッカーフェスティバル補助金等の予算が計上されている。

建設課所管では、道路修繕・ガードレール設置、道

路改良測量設計・道路側溝整備、河川維持・改修、佐敷港・計石地区の港湾改修、最終年度となる海浜総合公園事業や継続としての射場団地建設等の予算が計上されている。

簡易水道事業特別会計は、宮田地区配水流量計取替え及び海浦地区簡易水道事業変更認可申請業務委託の予算が計上されている。

農業集落排水事業特別会計は、各施設の機能保全に努めるべく、適正な修繕工事を実施し円滑な維持管理を図っていくための経費が予算計上されている。

生活廃水処理事業特別会計は、旧田浦町で平成7年度から実施している事業で、本年度は合併浄化槽20基設置のための予算が計上されている。

町有温泉事業特別会計は、ヘルシーパーク芦北・湯浦温泉センター・計石温泉センター・大野温泉センターの維持運営費等が予算計上されている。

福祉サービスの充実を

文教厚生委員会



佐敷中における英語指導

○高齢者対策課

・高齢者の生きがいと福祉増進のための各種補助金等計上

○福祉課

・婚姻による定住促進のための、仲人奨励金6件分計上

・心身障害者通所事業（小規模作業所）に対する補助金計上

・母子・父子家庭等高校修学費等を計上

・あしきた星野富弘美術館費として湯浦給食センターの解体

・各保育所に対する空調設備工事費

・子宝お祝金支給事業の補助金及び乳幼児医療助成金が予算計上

○住民生活課

・保健衛生事務費、母子保健事業、精神保健事業、歯

科保健事業、健康まつり事業の5項目事業に対する予算計上

○教育課

・語学指導費として、英語指導助手5名に対する予算計上

・佐敷小学校建設に係る造成及び仮設リース料1億1500万円計上

・幼稚園舎仮設リース料1500万円計上

・スクールバス運転業務委託料

・心の教育相談員4校分の謝金を計上

○生涯学習課

・競技スポーツの振興及び総合型地域スポーツクラブ活動支援事業に対する予算計上

・生涯学習センター費

大田田・古石・丸米・上田浦・女島・大岩6施設

の維持管理費等計上

温泉プール運営費

水泳協会による夜間監視委託料計上

○国民健康保険事業特別会

計
・保険給付費、介護給付金等増加に伴う医療給付費予算計上

介護保険 第1号被保険者数 (65歳以上) 単位：人

	65歳以上 75歳未満 (前期高齢者)	75歳以上 (後期高齢者)	合 計
平成13年2月末	3,546	3,053	6,599
平成14年2月末	3,552	3,202	6,754
平成15年2月末	3,530	3,309	6,839
平成16年2月末	3,473	3,431	6,904
平成17年2月末	3,424	3,545	6,969

※旧芦北町と旧田浦町の合計

○老人保健事業特別会計

・法改正により医療受給対象年齢が70歳から75歳に引上げられたことにより減額予算

○介護保険事業特別会計

・介護を必要とする高齢者の増加による給付費増大にかかる予算計上

○奨学資金貸付事業特別会

計
・本年度高校10人、大学20人の貸付枠を確保した予算計上



鹿児島県蒲生町での研修

どうしたら町民の方々に親しんでもらえる議会だよりを編集できるかとの思いから、議会広報特別委員会が設置されて間もない2月、鹿児島県に先進地研修を行いました。研修地である川辺郡知覧町と始良郡蒲生町では、いずれも見やすく読みやすい誌面を心がけ、写真と見出しは大きくしていました。

また、原稿の作成からレイアウト、校正など編集に関する全てを委員会のみで責任を

持って行い、事務局は一切タッチしていませんでした。良い部分は大いに取り入れるべきとの考えにより、第2号からは各委員で誌面を分担し、一致団結して作成してみました。

まだまだ不十分な部分も多々あると思いますが、皆さんのご指導を仰ぎながらより良い誌面づくりを目指したいと思えます。ぜひ、ご意見をお寄せください。

傍聴に来てください!

合併後、臨時会も含めて3回の議会が開催されましたが、傍聴に来られる町民の方があまりおられません。

傍聴は、ルールさえ守っていただければ誰でもできますので、6月議会にはぜひおいでください。

議会広報特別委員会

委員長	鳥居憲太郎
副委員長	元山秀志
委員	荒川臣六
委員	前田徹一
委員	小川紀次
委員	草野安道
委員	白坂康浩

山々の木々も新緑に満ちあふれ、空の色も初夏を思わせるすがすがしい今日この頃、町民の皆さんは如何お過ごしですか。

18日間の会期で開催された合併後初の定例議会が、上程された全議案を可決し閉会しました。

今年度の予算総額は、181億2千万円と大きくなりましたが、これでも合併後間もない時期に編成を開始したことから一部は骨格予算というものでした。今後更に増額されていくものと思います。

また、今年度の町政運営については、住民の皆さんが「合併してよかった」と実感できるよう合併の効果を最大限に発揮する施策を実施するとの施政方針が述べられました。今後の町政運営に期待を込め、ここに「うたせ」2号をお届けします。

(元山)

編集後記

広報委員で誌面を分担

ご意見をお寄せください。

議会のうごき

- | | | |
|----|-----|--------------------|
| 1月 | 7日 | 議会運営委員会 |
| | 9日 | 三太郎駅伝大会 |
| | 10日 | 芦北町成人式 |
| | 12日 | 第1回臨時会(13日まで) |
| | 17日 | 郡正副議長会 |
| | 28日 | 県町村議会議長会第5回理事会 |
| 2月 | 4日 | 議会運営委員会 |
| | 10日 | 第2回臨時会 |
| | 21日 | 県町村議会議長会第55回定期総会 |
| | 27日 | 日奈久・田浦インターチェンジ間開通式 |
| 3月 | 1日 | たのうら御立岬公園駅開業式 |
| | 8日 | 議会運営委員会 |
| | 11日 | 定例会(開会) |
| | 14日 | 各常任委員会(18日まで) |
| | 20日 | 消防点検(佐敷中) |
| | 24日 | 定例会(一般質問) |
| | 27日 | うたせマラソン大会 |
| | 28日 | 定例会(閉会) |
| | 30日 | 水俣芦北広域行政事務組合議会 |